

## 地域再生計画

- 1 地域再生計画の名称  
安心・安全・快適な黒潮ネットワーク整備による地域再生計画
- 2 地域再生計画の作成主体の名称  
高知県幡多郡黒潮町
- 3 地域再生計画の区域  
高知県幡多郡黒潮町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本地域は高知県の西南部に位置し、平成 18 年 3 月に旧大方町と旧佐賀町が合併し誕生した総面積 188.46 k m<sup>2</sup>の農業と漁業の町である。平成 17 年国勢調査による人口は 13,437 人で、平成 12 年と比較して 771 人 (5.4%) の減少となっている。一方、高齢化率は 32.2% で、都道府県別全国第 3 位の高知県平均をさらに 6.3 ポイント上回っており、少子高齢化及び過疎化の進捗が激しい地域である。

本地域は、最寄りの空港から車で 3 時間ほどかかり、都市からの距離的・時間的ハンディによる地域間格差は本地域の活性化における大きな課題であるが、デジタルデバイド(情報格差)によって生じる生活及び産業基盤における問題はより深刻である。

そこで、町内の全地域を光ファイバーケーブルでつなぐ「情報通信基盤整備」を実施することで、いつでも、どこでも、誰でもが、あたりまえに情報を得られ発信できる情報通信環境を整備し、距離的・時間的ハンディを逆手にとった「いきいき田舎暮らし」のできる環境整備を図り、定住人口の減少緩和と移住促進を目指す。

また、整備後の基盤を活用することにより、基幹産業である第一次産業の経営多角化や安定化、保健・医療・福祉や教育の充実などを図るとともに、町内外への情報発信及び情報受信量を拡大し、地域の活性化を目指す。

(目標数値 1)

平成 24 年 4 月 1 日の推定人口は 12,247 人と見込まれるが、これを 12,247 人～13,017 人の範囲とし、定住人口の減少緩和を図る。

(目標数値 2)

産業振興ポータルサイト (1 サイト) 設置

産業振興拠点施設 (1 施設) 整備

(目標数値 3)

特産品開発による遊休農地の解消 10ha

### 5 目標を達成するために行う事業

#### 5-1 全体の概要

黒潮町内の情報通信基盤の現状は、「役場からのお知らせ」や「災害時・緊急時の告知」について、佐賀地域では防災行政無線により一斉に放送しているが、大方地域では防災行政無線が整備されていないため、各地区の区長に依頼してマイク放送により周知を行っている。従って、住民に行政情報や災害時の緊急告知などを効率的、均一的、即時的に伝えられる環境がない。

「テレビの視聴状況」については、一般的には各家の屋根にアンテナを設置してテレビを視聴しているが、佐賀地域の一部では電波状況が悪く、他の地域でカバーされている民間放送を見ることができない。また、テレビの電波が届きにくい山間部などでは、地域独自で共同受信施設を整備している状況であり、地上デジタル放

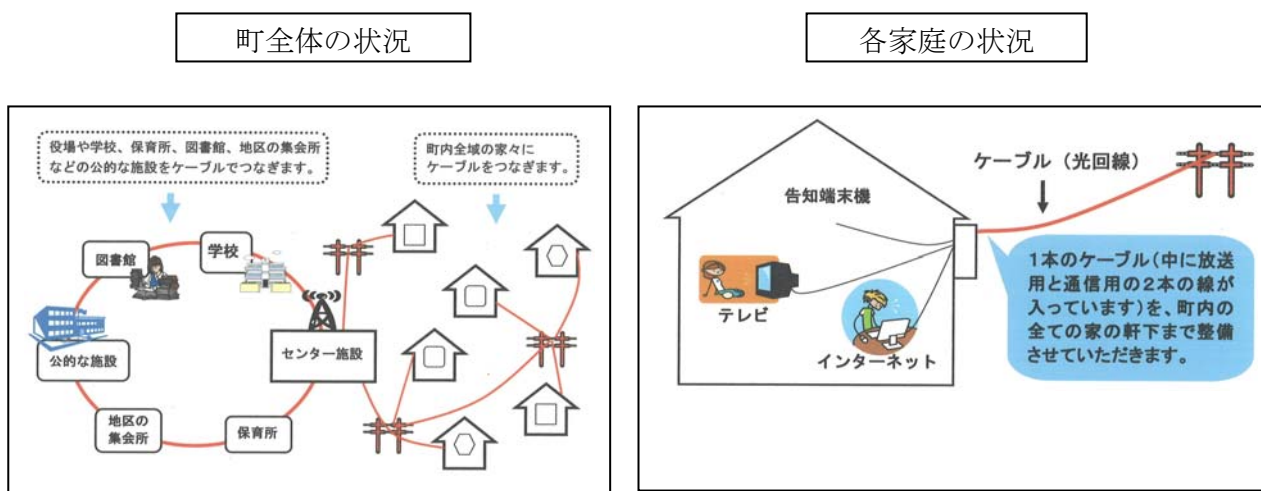
送への対応や施設の維持管理に大きな不安を抱えている。

「インターネット環境」については、ADSLによるブロードバンドサービスが佐賀庁舎と大方庁舎を中心とした半径5～6キロメートル程度のエリアで利用できるが、その他多くの地域はISDNによるナローバンド地域である。

「携帯電話」については、山間部に点在する集落地域に携帯電話不感知地域が存在し、その他の地域でも、メーカーによって全く繋がらない地域も多く存在する。

このように劣悪な情報通信環境を、町内全域を光ケーブルによる情報通信基盤整備を行うことで総合的に解決するとともに、産業・観光振興、保健・医療・福祉や教育の充実など、生活の中でのさまざまなサービスの向上につなげ、地域の活性化を図る。

### 【情報通信基盤整備のイメージ】



5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業  
該当無し

5-3 その他の事業

5-3-1 基本方針に基づく支援措置による取り組み

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金【B1002】

【事業名】情報通信基盤施設（情報通信基盤施設）整備事業

情報通信基盤を整備することにより、都市部と地方及び町内での情報格差を解消し、農村地域の活性化を図る。また、整備後の基盤を活用することにより、基幹産業である農業者の経営多角化や安定化を推進し、町内外への情報発信、情報受信量を拡大することにより、地区の活性化、地域振興に結びつけていく。具体的な目標として、現在の定住人口の減少緩和と移住促進を目指す。

5-3-2 支援事業によらない独自の取り組み

【事業名】農村地域IT化推進支援事業

黒潮町は、第1次産業が特に盛んな町であるが、その第1次産業に従事する地域住民間で、ITを直接利用することが苦手な住民とIT活用に長けた住民とが連携して地域の活性化につながる組織・体系作りを目指すことが重要である。その上で、もう一度地域に目を向けて地域資源の顕在化を進めることにより、地域の魅力を再確認し、黒潮町ブランドとして自信を持った農作物の育成、

販売につなげていく取り組みをめざす。

そのために、住民ニーズ調査を元にした今後の事業実施計画を検討するとともに黒潮町の将来像を描きながら、整備以後に利活用し易い情報通信基盤整備方針を決定する。

**【事業名】 高知県中山間地域産業再生モデル事業**

農業法人格を持つ住民株式会社を育成し、黒潮町が自然環境の中に持っている黒砂糖、天日塩、柑橘類、醤油、味噌など、料理の基本「さ・し・す・せ・そ」と組み合わせた地域資源の高付加価値化を図ることによりビジネスを創出し、遊休農地の有効利用と雇用の場を創造する。

**【事業名】 農山漁村地域力発掘支援モデル事業**

黒潮町佐賀地域の北部を中心に、かつて日本一の品質を誇っていた和紙の原材料になる楮栽培の復活や佐賀温泉を拠点とした地域の活性化を目指した事業。

6 計画期間

認定の日から平成24年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、毎年状況を把握し公表するとともに、計画最終年度の翌年度において、住民基本台帳によって定住人口の増減を把握し、目標の達成状況の検証を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし